

今号のテーマ:『物流』

一貫パレチゼーション輸送の拡大について

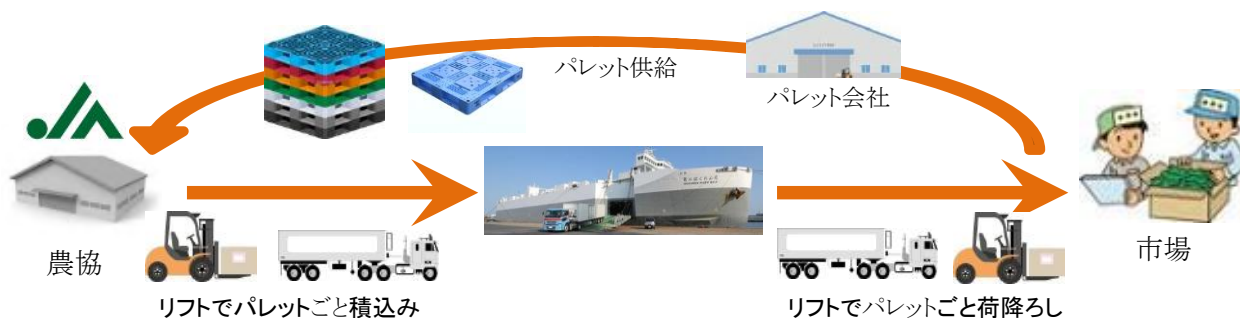
1. 背景

現在の物流業界は、トラック運転手を中心に、深刻な**人手不足**と**高齢化**に悩まされており、今後は働き方改革の影響を受け、更なる運転手不足が懸念される。【2020年⇒2030年で約18%のドライバーが減少(鉄貨協調査)】

→ 限りある労働力を有効に活用するため、運転手の**労働時間の短縮**と**作業負担の軽減**が求められている。

2. 取り組み内容

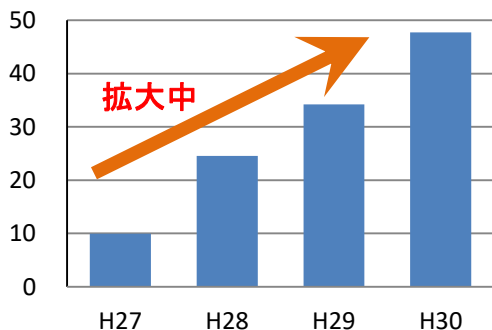
玉ねぎ・馬鈴しょ・人参等の重量野菜を中心に、これまでの「**バラ積み輸送**」から、**運転手による積み降ろし作業が発生しない「一貫パレチゼーション輸送」**への切り換えを進めている。



- 積み・降ろし作業 **約4時間短縮**(バラ輸送:各作業2～3時間 → パレット輸送:各作業30分)
- 荷役作業が発生しないため**高齢・女性ドライバー**も輸送可能

パレット輸送実績推移

(単位:千トン)



「バラ積み輸送」



「一貫パレチゼーション輸送」

☆ ホクレン物流部では、輸送力の安定確保に向け、引き続き一貫パレチゼーション輸送の拡大に取り組んでまいります。

～他連合会等からの情報～

JA共済連より

JA共済連「農業者へのお役立ち情報サイト」のご紹介

JA共済連では農業経営を取り巻くリスクの軽減・回避に資する情報を提供する観点から、JA共済ホームページ内に、「農業者へのお役立ち情報サイト」を開設しています。是非一度ご覧ください。

(<https://www.ja-kyosai.or.jp>)

<主な掲載コンテンツ>

(1) 農業経営を取り巻くリスクに対する保障のご案内

- ① 農業リスク診断活動のご案内
- ② JA共済における共済仕組みおよび共栄火災海上保険株式会社の取組みのご案内

(2) 異常気象に関する各種情報

- ① 農作物ごとの技術対策
- ② 気象事象ごとの技術対策
- ③ 病虫害防除に関する情報

(3) 農産物輸出に関する各種情報のご案内

- ① 農林水産物・食品の輸出についてのヒント集
- ② 日本からの輸出に関する各国・地域の制度

<JA共済ホームページ トップページ (イメージ) >



JA共済ホームページのトップページの「農業者の皆さま」専用のメニューボタンを押下すると、「農業者へのお役立ち情報サイト」へ遷移します。



エコープマーク品について (女性部との共同開発商品)



女性部と全農による共同開発商品

エコープマーク品は、JAグループの商品として愛用されております。

エコープマーク品は、組合員の意思を反映し、JAの特色を生かした商品、JAグループによる品質保証により安心して使える商品として開発されてきました。

左記の「ほめられ酢」、「簡単和風だし旨! だしパック」は、全国の女性部代表者と全農との共同開発によって誕生した商品です。

特に、「ほめられ酢」の主原材料の米は国産米100%が特徴で、用途が広く手軽に利用できると好評を得ております。

エコープマーク品は、国産の原材料を優先的に使用しています。また、主原材料100%が国産であるものにのみ「国産愛用マーク」が表示されております。

エコープマーク品は、JA個別宅配「ジョイライフ」、でお買い求めいただけます。



国産愛用マーク

●訓子府実証農場で女性向け農作業安全研修会を開催します 《ホクレン営農支援推進課》

ホクレンでは、女性農業者を対象に農作業安全などの基礎知識の習得と女性同士のつながりを強めることを目的に、下記のとおり研修会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

【開催日時】令和元年12月17日(火)10:00~15:00

【受講場所】ホクレン訓子府実証農場(訓子府町字駒里184番地7)

【受講対象】女性農業者(就農年数は問わない)

【研修内容】農作業安全について、GAPでみる農場内の安全管理、自動操舵トラクターとガイダンスの仕組みなど

【申込方法】JAを通じて、ホクレン各支所の営農支援室へ



●担い手向け研修会(小麦・大豆)を札幌で開催します 《ホクレン営農支援推進課》

ホクレンでは、担い手生産者を対象に「小麦・大豆」をテーマとした研修会を下記のとおりで開催します。昨年に続き今回は2回目の開催となります。昨年の同研修会は28名が参加し「講習内容も良く、たくさんの人と交流できた」などのコメントがあり講評でした。今年も皆さんのご参加をお待ちしています。

- 【開催日時】 令和元年12月10日（火）10:20～11日（水）13:50
※1泊2日の合宿研修
- 【受講場所】 ホクレン研修センター（札幌市東区北22条東2丁目）
- 【受講対象】 小麦・大豆を生産する農家後継者（概ね就農5年以内のUターン、親元、新規就農者など）
- 【研修内容】 畑作における土づくり、小麦・大豆の生育と栽培管理の基本、小麦の品質評価、小麦・大豆の販売情勢、畑作の病害虫と防除法、畑作地域のスマート農業など
- 【申込方法】 JAを通じて、ホクレン北見支所の営農支援室へ

●オホーツク畜産GAPセミナーを開催します 《オホーツク地域GAP導入推進会議》

畜産分野におけるGAP（農業生産工程管理）は、食品安全、環境保全、労働安全、家畜の衛生、アニマルウェルフェアに関する法令等を遵守するための点検項目を定め、生産工程の管理や改善を行う取り組みです。このたび、畜産GAPの現状や取り組み内容について理解を深めるセミナーを開催します。

<開催日時> 令和元年11月29日（金） 13:00～15:15（受付 12:30～）

<場 所> 北見市民会館 小ホール（北見市常盤町2丁目1-10）

<対 象 者> 農業者、JA、自治体等（50名程度）

<参 加 費> 無料

<主 催> オホーツク地域GAP導入推進会議

※問い合わせは、オホーツク総合振興局農務課畜産係（0152-41-0665）まで
お願いします

★内容に関してのお問い合わせやご意見・ご感想につきましては、ホクレン北見支所 営農支援室（担当：林田）まで、メールにてお願いいたします。（アドレス：11einousien@hokuren.jp）

～次号予告～

次号（令和元年度第9号）のテーマは『豆 類』です。乞うご期待下さい！